



大分市廻栖野の一心寺

【大分】大分市廻栖野の一心寺は、広報の役割を担う、新しいメインキャラクター「桜宮春咲」を制作した。2018年から、アニメ調のキャラを60種類以上生み出しており、今宮年男住職(44)は「メインの代替わりは初めて。伝統とサブカルチャーの融合を加速させる」と力を込める。

桜宮春咲は、春に開催する桜まつりで販売していた自家製の桜餅をテーマとしている。ピンクを基調とした華やかな衣装に緑のアクセントを加えて、愛らしいビジュアルにした。名前は境内に植えられたホタル桜が咲く季節にちなむ。

初のメイン代替わり

一心寺の新年キャラクター「桜宮春咲」



新年キャラで寺の魅力発信加速

今宮住職の祖母をイメージした初代メインキャラクター「翠」と、祖父をモチーフにした「倶利伽羅一心」の娘という設定。

今後は交流サイト(SNS)での発信に加え、プロの声優を起用したボイスコミックやキャラクターソングの制作も予定。「萌え御朱印」やお守りなどのグッズ展開も強化する。

寺を若年層も集う場にしようと、試みを続ける今宮住職は「キャラクターのファンが増えて、寺の歴史や魅力を多くの人に知ってもらえた。幅広い世代に、寺に親しんでほしい」と話した。

(原田宏一)



県内外から多くの参拝者が訪れる一心寺＝大分市廻栖野



〔問①〕記事の中から答えを見つけて（ ）の中に書きましょう。

一心寺の初代メインキャラクターの()と今宮住職の()をモチーフとしたキャラクター・倶利伽羅一心の()という設定の新たなメインキャラクターとして誕生した()は、境内の()が咲く季節にちなんで名付けられた。

〔問②〕一心寺では、なぜキャラクター制作やグッズ販売を行なっているのでしょうか。記事を読んで、その理由を書いてください。

〔問③〕オリジナルのキャラクターを軸としたPR活動により、一心寺には県内外から多くの参拝客が訪れています。今後、「古い伝統を大切にしながらも、若い世代が心から楽しめるお寺」にするためには、どのような工夫が必要だと思いますか。あなたの考えを書いてください。